

稲毛海浜公園自然観察会

虫とともにだちになろう

南 俊哉(千葉市)

日 時：2024 年 9 月 14 日(土)10:00～12:00 気温 33℃

場 所：稲毛海浜公園（千葉市）

参加者：24 名(大人 12 名、子ども 12 名)

指導員：藤田・藤井・相吉・南・伊藤(事務局)

晴天に恵まれ、9 月半ばですが、熱中症が心配になるほどの気温でした。2 班に分かれてスタートしました。出発してすぐの垣根で、ジョロウグモを観察しました。メスの方が大きく、おなかが赤くなること、アミは 3 枚セットの構造であることを説明しました。

次に、虫だけでなく、マテバシイが 2 年成であることもお伝えしました。虫取りに夢中になるばかり、進まない状況もありましたが、最終地点の「思い出の広場」に到着。広場では、「生き物ピラミッド」を作るゲームを実施。「いのちはめぐる」という絵本を使って、食物連鎖について藤田さんから説明がありました。大型動物を頂点に、肉食昆虫、草食昆虫、底辺はミミズなどの分解者とした大きなピラミッドのシートを用意し、捕まえた虫をプラカップに入れ、ピラミッドのどこに位置するか考えて、置いてもらいました。思った以上に捕まえた虫が多くて、子ども達は、興味津々でした。意外にもカエルまでいました。また、「虫の追い込み」を皆でやってみました。大きな輪を作って、少しずつ中に歩み寄って真ん中に置いてあるシートに追い込むゲームです。小さい虫が集まってきたことに乱舞して捕まえようとしていた幼いお子さんの姿が印象に残りました。

最後は、捕まえた生き物を逃がして観察会終了。子どもたちからは、「楽しかった。今年初めてアオスジアゲハを捕まえることができてうれしかった。」「虫がたくさんいて楽しかった。」「前は虫嫌いだったけど、今日の虫取りで楽しくなったよ。」と、大人からは「初めて虫取りに参加した。住んでいる近くで虫取りができる公園があることを改めて知った。ぜひまた遊びに来たい。」「大人の方が楽しんじゃったわよ。」とのこと。大変嬉しく、励みになります。生き物に夢中になる姿はいつ見てもうれしくなります。

<観察した生き物(五十音順)>

アオスジアゲハ、アオモンイトトンボ、アマガエル、エンマコオロギ、オオウンモンクチバ、オオカマキリ、カナヘビ、カメムシの仲間、クビキリギス(褐色型)、コカマキリ、サザナミスズメガの幼虫、シオカラトンボ、ショウリョウバッタ、ジョロウグモ、バッタの仲間、ムラキシジミ、モンシロチョウ、ヤマトシジミなど



指導員による説明



虫の追い込みゲーム



みんなで虫持って撮影